

「リウマチ手記」内藤 美智代 72歳

2014年6月11日

私は2月中旬頃から腰が痛くて行きつけのマッサージを受けましたが全く回復の兆しは無かった。それから数日後、椅子に座って立ち上がる時違和感を覚え又、腕を上げた時、床と水平の位置で痛みを感じました。それで私は主治医(内科)の先生に診察していただきました。血液検査をうけ痛み止めの薬(ロキソニン)を処方されたが風邪を引いたときのお薬と同じだったので呑みませんでした。5日後検査結果は白血球-105、CRP-0,78でした。だんだん筋肉の痛みは増してきました。それである大学病院を紹介していただき整形外科を受診致しましたが診断結果は五十肩と言われました。筋肉だけが痛いのに少しおかしいと思い、1週間後にもう一度初診で別の先生に診察を受けました。多分リウマチ性多発筋痛症と思うからリウマチ科を予約してくださいと言われ、セレコックス錠100mgを処方して頂きました。2週間後でないと言われ出来ませんでしたのでその間私の両腕と太腿の筋肉が以前にも増して痛く寝返りをうつことが痛くて大変でした。そしてリウマチ科の先生も同じ見立てでした。リウマチ科の先生も同じお薬を出され最初に大学病院を紹介して下さった主治医(内科医)に戻されました。その内科の先生は私があまり痛がるのでステロイド入りの点滴を1日おき位に5本打ちました。その間、MR検査、腰のレントゲンも取りましたが異常なしでした。其の頃は点滴注射も効き、少しは楽になっていましたが、ステロイド注射以外に治す方法がないか調べました。その時は絶対に自分で治してやろうという強い気持ちを持ちました。そしてパソコンで探してここだと直感した病院が高槻市の松本医院でした。

まず、直ぐに電話をしたら家族と一緒に来て下さいとのことでした。その時は意味が分からなかったが後で理解することが出来ました。翌日病院に行きました。まず、院長先生から色々の質問を受けました。インパクトの強い先生でした。その日は鍼灸をして頂き1週間分の漢方薬を処方されました。先生が「家族で来てください」とおっしゃった意味が解りました。それは食前、食後、食間に飲む薬を40分間、とろ火で煮る事。それとお灸のやり方を教えていただいたので自分自身でお灸をし、又は家族にお灸をすることを手伝って頂かなければなりません。それで、家族の協力と自分で治そうと思う強い気構えを持つ為だと思いました。私は毎日朝と夜にお灸をし、又欠かさず漢方薬を飲みました。4月の終わりころには痛みはだいぶ無くなってきていましたが、未だ湿疹の痒みが残っていました。今、松本医院の院長先生に初めてお会いしてから約2ヶ月半でここまで元

気になった事に感謝の気持ちでいっぱいです。毎日の生活に支障は無いがまだ疲れやすいし血液検査の数値が高い値があるため、当分の間漢方薬を飲もうと思っています。有り難うございました。